

足利工業大学土木工学科 学生員 中野 和弘

足利工業大学土木工学科 正会員 中川 三朗

1. はじめに

近年、大規模小売店舗法の改正により、出店調整期間の短縮などで、大規模小売店舗が出店しやすくなり、店舗数が増加している。そのような中で、大規模小売店舗が立地する際に生成される店舗に集中する自動車交通で、周辺道路は混雑の問題が生じている。そのため、これら店舗に集中する自動車交通を把握する必要があると思われる。

そこで本研究は、大規模小売店舗が道路交通に及ぼす影響の中で、大規模小売店舗に集中する自動車交通に着目して、栃木県足利市の第1種大規模小売店舗を対象として、自動車来店台数の調査を行い結果を述べる。また、店舗の特性が自動車交通に及ぼす影響を分析することを目的とする。

2. 自動車来店台数の調査

足利市の大規模小売店舗に集中する自動車交通の現況を把握するため、対象店舗の自動車来店台数の調査を行った。

(1) 対象店舗

足利市の第1種大規模小売店舗を表-1に示す。このように足利市には第1種大規模小売店舗が11店舗あるが、調査の対象とする店舗は、コムファーストショッピングセンター、島忠家具ホームセンタ

表-1 足利市の第1種大規模小売店舗(3,000㎡以上)

名称または大型店舗名	業態	所在地	店舗面積(㎡)	閉店時刻
コムファーストショッピングセンター	総合スーパー	朝倉町	21,584	PM 8:00
キンカ堂足利店	総合スーパー	永楽町	11,561	PM 7:00
イトーヨーカドー足利店	総合スーパー	田中町	8,750	PM 8:00
島忠家具ホームセンター足利店	家具ホームセンター	朝倉町	5,755	PM 7:00
カインズホーム足利店	ホームセンター	堀込町	5,700	PM 8:00
ビッグジョイ助戸店	総合スーパー	助戸1丁目	4,248	PM 8:00
ドイト足利店	ホームセンター	助戸東山町	3,715	PM 7:00
ニトリ足利店	家具専門店	堀込町	3,490	PM 8:00
ホームセンタータントム足利店	ホームセンター	朝倉町	3,362	PM 8:00
とりせん業態店	総合スーパー	業態町	3,265	PM 8:00
コジマNEW足利	AV機器家電品専門	朝倉町	3,000	PM 8:00

一足利店、ビッグジョイ助戸店、ニトリ足利店、ホームセンタータントム足利店、コジマ NEW 足利、の6店の第1種大規模小売店舗とし、その他の第1種大規模小売店舗は、駐車場が分散された場所であり、自動車来店台数の計測が困難なため除外した。

(2) 調査の方法

平成9年12月の日曜休日の営業時間に、対象店舗の出入口に入ってくる自動車を、カウンターで数えた。尚、自動車とは乗用車、トラック、タクシーとし、オートバイは少ないため除外した。

(2) 調査の結果

自動車来店台数調査の結果を時間帯別に表し図-1に示す。自動車来店台数の全体量を見ると、複合商業施設であるコムファーストショッピングセンターが最も多く、次いでビッグジョイ助戸店となっている。時間帯別に見ると、総合スーパーであるビッグジョイ助戸店の自動車来店台数は、夕方にかけて増加している傾向がある。ホームセンターであるニトリ足利店、ホームセンタータントム足利店、島忠家具ホームセンターは、比較的早い時間帯や13時から15時にの間に自動車来店台数のピークがある。このことから、大規模小売店舗に集中する自動車交通は店舗の業態・業種に関連があると思われる。

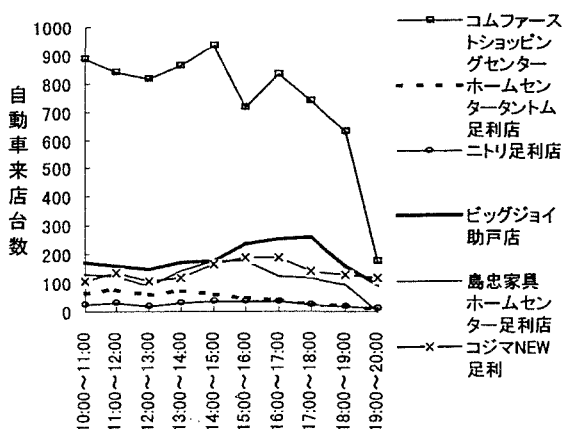


図-1 時間帯別自動車来店台数

Keywords:大規模小売店舗、自動車交通、立地

4. 大規模小売店舗に集中する自動車交通量と大規模小売店舗の特性の関係

(1) 店舗の特性

店舗の特性として、表-2 に示すように、駐車可能台数、小売業者数、出入口のある沿道の車線数の合計、出入口の数、最寄り駅までの距離、店舗面積の6個の特性を挙げた。

表-2 自動車来店台数と店舗の特性

名称または 大型店舗名	自動車来店 台数(台)	駐車可 能台数(台)	出入口の ある沿道の車 線数の合計	出入口 の数	最寄り駅 までの距離 (m)	小売業 者数	店舗面 積(m ²)
コムファースト ショッピングセンター	7448	1200	6	6	1044	42	21584
ホームセンター タナム足利店	471	110	2	2	928	1	3362
ニトリ足利店	251	46	2	1	2030	1	3490
ビッグジョイ助戸店	1845	270	2	2	1508	1	4248
鳥忠家具ホーム センター足利店	1179	225	4	2	986	1	5755
コジマNEW足利	1410	240	4	3	986	1	3000

(2) 大規模小売店舗に集中する自動車交通と店舗の特性の関係

大規模小売店舗に集中する自動車交通と店舗の特性の関係をみるために、自動車来店台数と店舗の特性を、相関分析する。その結果を表-3 に示す。

表-3 単相関係数

	駐車可 能台数	出入口の ある沿道の車 線数の合計	出入口 の数	最寄り駅 までの距離	小売業者数	店舗面積
自動車来店台数	0.999	0.870	0.959	-0.282	0.982	0.975

この表を見ると、単相関係数が最も高いのは駐車可能台数である。これは、駐車場が広ければ多く自動車で来ることが考えられる。単相関係数が最も低いのは、最寄り駅までの距離で単相関係数は-0.282である。これは他の交通手段の有無に関係なく店舗へは自動車で来ていることが考えられる。

最寄り駅までの距離を除くその他の店舗の特性は、相関が高いが、その中で、店舗の魅力を示す指標である小売業者数と店舗面積の単相関係数が高いことに着目して、その要因を探ることにする。

表-2の小売業者数を見ると、コムファーストショッピングセンターは複合商業施設であるため39業者あり、他の店舗は専門店であるため1業者となっている。また、複合商業施設は多種多様な商品を扱っており業種も様々である。このことから複合商業施設であるコムファーストショッピングセンターに注目して小売業者の業種と売場面積について調べた。(図-2)

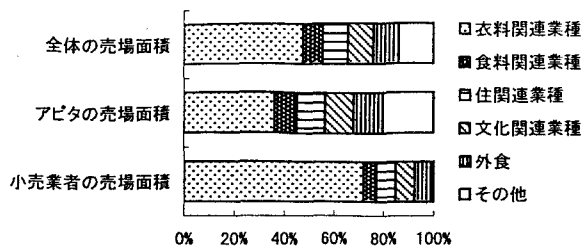


図-2 コムファーストショッピングセンターの業種構成

コムファーストショッピングセンターはアビタという小売業者が核店舗となっており、その他の小売業者は専門店となっている。図-2より、コムファーストショッピングセンターは、衣料関連業種の売場面積が約半分占めていることがわかる。衣料品は、遠方まで買物のコストをかけて行く事をいとわない、買回り品の性格を持っており、自動車を使って遠方からも買物に來ていると考えられ、業種と自動車来店台数は関連があると思われる。

次に、コムファーストショッピングセンターは複合商業施設であるためこれを除いて、専門店だけで相関分析をした。その結果を表-4 に示す。尚、小売業者数はすべて1であるため除いた。

表-4 単相関係数(除コムファーストショッピングセンター)

	駐車可 能台数	出入口の ある沿道の車 線数の合計	出入口 の数	最寄り駅 までの距離	店舗面積
自動車来店台数	0.974	0.125	0.619	-0.283	0.289

相関が最も高いのは駐車可能台数で、これは専門店だけでなくあっても駐車可能台数が広ければ自動車で来ることが考えられる。

しかし、駐車可能台数と最寄り駅までの距離の相関係数は、除かない時とほぼ同じであるが、出入口のある沿道の車線数の合計と出入口の数、店舗面積の相関係数が低い。これは、専門店であると出入口のある沿道の幅員や店舗の広さに関係なく自動車で来ていることが考えられる。店舗面積の相関が低い要因の1つとして、すべて専門店であるため、店舗によって業種がかたよっている事が挙げられる。

5. おわりに

今回は、大規模小売店舗の立地が道路交通に及ぼす影響として、自動車来店台数と店舗の特性の関係を業態や業種に関連させて分析した。その結果、駐車可能台数が大規模小売店舗に集中する自動車交通に影響を及ぼしている事がわかった。今後は、業態や業種との関連をより深く分析する必要がある。